

われ、村民誰も一度は訪れたことと思います。

今はロッククライミングの愛好者が多く訪れていると聞いていますが、利用者はどのくらいですか。

また、赤岩青巖峡は村の代表的な景勝地であり、守るべきは当然と考えますが、伺います。

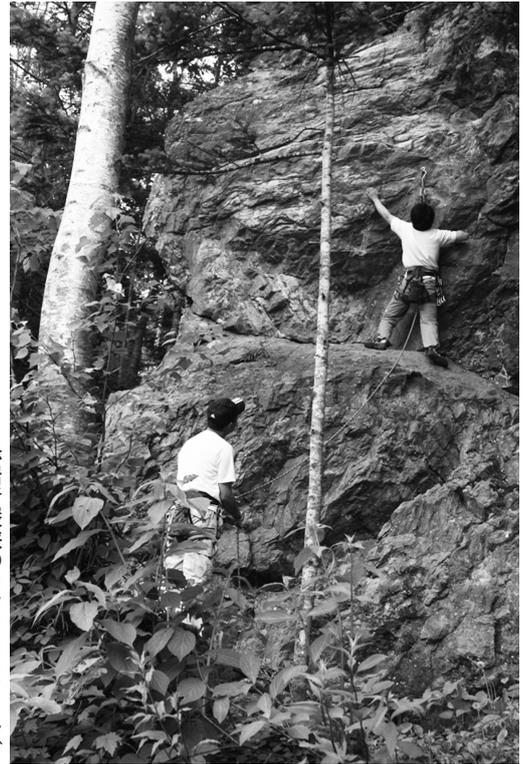
中村村長 3年間のクライマーの利用実績は人数で、平成22年899人、平成23年930人、平成24年は2379人です。

赤岩青巖峡は村の自然の中の景勝地で一番親しまれる場所であり、村立公園にも指定されています。

山本敬介議員

1 リゾートとの連携

問 リゾートに関する記述が基本姿勢の一部分にしか見られません。リゾートは、産業としてはもとより、雇用や定住の面、農林産物消費、木質バイオマスの展開など、村の一大産業と見えますが、村長の認識を伺います。



赤岩青巖峡のロッククライミング

中村村長 トナムリゾートとは、産学官連携や、農産物の地場産品消費など、できるところから連携を模索していきたいと思えます。

2 農業の6次産業化

問 村の農業は付加価値を高めたいことが大切です。現在、販売できる場所は非常に充実しています。農産物の販売用加工ができる施設がなく、農家は手が回らない状態です。農業6次化について考えを伺います。

中村村長 今後新規就農を考えるとハウス栽培や、無農薬有機栽培で差別化する必要があると考えています。付加価値を高く

3 猟区設定

問 猟区は狩猟期の安全対策やスレシカ防止による農業被害の軽減につながります。村長はいつの設定を目指して進められるつもりか伺います。

中村村長 昨年度、猟区設定の大まかな調査事業を行い、新年度は、もう少し掘り下げた可

能性調査を行っていきます。地域おこし協力隊も1名をこの担当に予定しています。

4 プレミアム商品券事業

問 プレミアム商品券は、不正に利用される可能性があるというところで、昨年度は実施に手間取りました。今年度の方向性を伺います。

中村村長 今年度は早い段階での総括と検証を商工会にお願いして、進めていきたいと思えます。

5 湯の沢温泉

問 湯の沢温泉は、反対の声も大きかった中、村長肝入りでやられ、好評を得ているというところで、評価しています。湯の沢温泉にどのような未来像を持っているのか伺います。

中村村長 湯の沢温泉は家族で楽しんでいただける場所、そして、自然条件にも恵まれていますので、委託先にはそれらを十分活用しながら事業を進めていただくようお願いしています。

6 新年度の防災訓練は

問 昨年初めて行った防災訓練でいろいろな課題が浮かび上がり、それを防災計画の見直しに反映させていきたいということで、非常に村民の防災意識も高まっています。

しかし執行方針の中に「防災訓練は予定しておりませんが」とありますが、これはどうしてか伺います。

中村村長 今年度は防災会議を開催し、まず防災計画の見直しを行います。その中で具体的な防災訓練の有効性なども協議いただき、来年度以降防災訓練は再開したいと思えます。



賑わう湯の沢温泉

山本敬介議員

1 危機管理への意識

問 いじめ、暴力行動、体罰、アレルギー、不審者、防災、こういった「危機管理」について、現在の執行方針では、ばらばらに記載されており明確に見えてきません。

今後の執行方針で、危機管理として一つの項目を設けるなりにして明確にしていたただくことはできるでしょうか。

藤本教育長

いじめや暴力の問題など、危機管理に対して学校がどう備えるか、これらのことを自分に置き換えて、いつでも起こるといふ認識を持つてもらうのが第一です。

また、学校にある危機管理マニュアルは昨今の状況に合わせて変更が必要であり、食物アレルギーなどについても校長会等で共通の認識を持ち、研修をしつかりやるよう言っております。

2

教育執行方針の

具体性は

問 例えば、少人数だからこそできる個に応じた指導、特色ある活動、独自性のある教育課程、特色ある学校づくりなど、総体的に具体性に欠けているというふうに感じますが伺います。

藤本教育長

占冠村教育委員会としては、執行方針で基本的なスタンスを示し、あとは基本的な活動、学校での内容については、それぞれの学校に任せています。

3

教育執行方針にも

キャッチフレーズを

問 教育行政にもキャッチフレーズを盛り込むことで、より具体的な教育方針、執行方針として響いていくのではないかと思いますが伺います。

藤本教育長

教育執行方針の中にキャッチフレーズはありませんが、基本はやはり「すべては子どもたちのために」という思いで私たち教育委員会もそれぞれの業務を遂行していこうと確認しております。